

# 淡水貯蔵量の状況

2023年3月30日

**TEPCO**

---

東京電力ホールディングス株式会社

## ■ <既報告事項> (2022/12/22\_チーム会合事務局会議報告事項)

- 汚染水対策の進捗により、今年度の汚染水発生量が非常に抑制できている状況。  
(台風などの集中的な降雨が少ないことも影響している可能性有)
- 一方で、汚染水発生量の減少に伴い、原子炉注水に用いる淡水の精製量が少なくなり、33.5m盤の淡水貯留タンクの貯留量が例年と比較して少ない状況となっている。
- 対策として、ALPS処理済水タンクに貯留している「処理途上水」の一部を廃液供給タンクへ仮設移送し、RO処理することで淡水貯留タンク貯留量を確保する。
- 本件の実施により、移送した処理途上水の一部にALPSでの処理を実施することとなり、今後二次処理の対象の「処理途上水」の減少にも寄与する。

## ■ <今回の報告事項>

- 上記の計画通り、「処理途上水」の移送を2023/2/13から実施しており、回復傾向になっていることを確認している（移送量は最大150m<sup>3</sup>/日程度）。
- このまま推移した場合、**2023/3末頃には、約4,500m<sup>3</sup>の貯留量を確保出来る見込み**となっている。
- 引続き安全最優先で作業を進めていく。

